

Security+

セキュリティの概念、実装、運用管理において「How to (どのようにすべきか)」を理解しスキルを身に付ける認定資格

Protect Your Organization with Security+ Certification



CompTIA Security+ 認定資格を保有する社員を登用することでビジネスをセキュリティの脅威から保護できます

価値ある認定資格

米国防総省は Security+ 認定資格を非常に高く評価し、指令書 8570.01-M により取得を必須と規定しています。

グローバルな認知

CompTIA Security+ は、国際的に認知された資格としての信用があります。現在、世界 147 カ国で Security+ 認定資格を持つプロフェッショナルが活躍しています。

脆弱性の軽減

セキュリティ違反は、収益や生産性の損失につながる同時に、会社の評判を著しく傷つける恐れもあります。Security+ 認定資格を持つ社員を登用することで、セキュリティ脅威を確実に管理できます。

費用対効果：ROI

顧客データが危険にさらされることで、組織にとり、重大な経済的損害が生じる可能性があります。CompTIA Security+ 認定資格を持つスタッフに投資することで、効率的に企業のリスクを軽減し、ビジネスを安全でコントロールされた状態に保つことができます。

高いスキルを有する社員

採用担当マネージャの 91% が、専門知識 / 技術を確認する上で CompTIA 認定資格が有効であると述べています。Security+ 認定資格では、ネットワークセキュリティ、コンプライアンスと運用セキュリティ、脅威と脆弱性、ホスティングセキュリティ、アクセスコントロールと認証マネジメントに加え、暗号化のスキルが証明されます。¹

信頼される専門知識 / 技術

Security+ 認定資格を取得することで、組織の IT セキュリティ問題に対する、信頼性の高い情報源の役割を担うこととなります。

ロイヤリティの高い社員

認定資格を取得している社員の 84% は、会社を辞めずに働き続けるため、スキルの高い従業員から長期に渡り恩恵を受けることができます。²

需要の高い人材

セキュリティ脅威がつかないほど増大するに伴い、あらゆる IT 専門分野の中でもセキュリティプロフェッショナルやセキュリティ資格を有する IT スタッフのニーズが高まっています。

キャリアの向上

Security+ 認定資格は、セキュリティや IT システム管理分野でより高い報酬が得られるキャリアを目指す上で役立ちます。

より良い給与を得る

Security+ 取得により、知識とスキルを証明し、より高い報酬を得ることができます。一部のセキュリティスペシャリスト、セキュリティアーキテクト、セキュリティエンジニアの年収は 86,000 ドルに上ります。³



" 業界の業界による 業界のための資格 "

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA Security+ SME

- 海外 / 一部抜粋
 - Dept. of Navy
 - DoD (Air Force)
 - U.S. Army
 - US Marine Corp
 - State of Minnesota
 - IBM
 - IBM Managed Security Services
 - Cereberus Information Security
 - CSRA
 - Deloitte & Touché LLP
- 日本 (50 音順)
 - S&J 株式会社
 - NRI セキュアテクノロジーズ株式会社
 - 日本電気株式会社
 - 富士ゼロックス東京株式会社



CompTIA Security+ 取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- セキュリティアーキテクト
- セキュリティエンジニア / セキュリティ管理者
- セキュリティコンサルタント
- 情報保証に携わる技術者

様々なグローバル企業では、自社の社員の育成に Security+ を必須 / 推奨資格として活用されています。

CompTIA Security+ は、国際的に広く認知されている規格である ISO/ANSI 17024 を取得しており、世界中の多くの企業や学校で活用をいただいています。最も顕著な例としては、米国国防総省の情報保証に関連する全ての人材に対し、CompTIA Security+ は必須資格として活用されています。

CompTIA Security+ 活用事例：米国国防総省での活用事例

米国国防総省（The U.S. Department of Defense: DoD）は、効果的に DoD の情報、情報システム、情報インフラを守るため、十分に訓練され資格を取得した、マネージャ、テクニシャン、コントラクタ、そして、特権的アクセスをもつユーザーなどすべての情報保証を必要とする人材に対し、「DoD Directive 8570.1M(米国国米総省指令 8570.1M)」を要求しています。

国家の安全に重要な仕事である DoD に携わる全員の知識とスキルが高い水準のレベルであることを保証するため、DoD では、CompTIA A+、Network+、Security+、CompTIA CySA+、CASP を含む資格取得を必須としています

主な出題範囲

CompTIA Security+ 認定資格試験では、アプリケーション、ネットワーク、デバイスのセキュリティを確保するために必要なシステムのインストールと設定、プラットフォームへの脅威を分析して適切な手法で緩和する対応、関連するポリシーや法規制を正しく認識した運用を行うために必要な知識とスキルを証明します。また、これらのタスクを、機密性、完全性、可用性の三大要件を維持し実行が可能なスキルを証明します。CompTIA Security+ 認定資格試験には、多肢選択式の問題とパフォーマンスベースの問題の両方が含まれます。

| CompTIA Security+ (試験番号 : SY0-501) | |
|------------------------------------|-----|
| 第 1 章 脅威、攻撃、脆弱性 | 21% |
| 第 2 章 テクノロジーとツール | 22% |
| 第 3 章 アーキテクチャと設計 | 15% |
| 第 4 章 アイデンティティとアクセス管理 | 16% |
| 第 5 章 リスク管理 | 14% |
| 第 6 章 暗号化と PKI | 12% |

試験実施概要

| 試験番号 | 問題数 | 制限時間 | 合格ライン |
|---------|----------|------|-------------------------|
| SY0-501 | 最大で 90 問 | 90 分 | 100 ~ 900 のスコア形式 750 以上 |

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

https://www.comptia.jp/certif/comptia_certification/